

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	スポーツ協会事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度	～		年度			
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援						
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
	川口市スポーツの推進等を図ること及び、競技力の向上を図るため、(公財)川口市スポーツ協会が行う事業に対して補助金を交付する。			本市のスポーツ推進及び競技力の向上
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
	川口マラソン、スポーツ教室、各種スポーツ大会、スポーツに関する講演会、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰、広報誌の発刊などの事業費の一部を助成した。			○事業参加者数 川口マラソン大会:5,980人 市民選手権大会:6,633人 都市交歓スポーツ大会:1,906人 各種スポーツ教室:162人 ○表彰者数 功労賞17人 優秀選手賞17人 特別優秀選手賞 154人 学校体育部活動優秀指導者 19人
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなった。また、スポーツ表彰により、一層スポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。			川口市スポーツ協会は、前身の川口市体育協会から70年を超える間にわたり、本市スポーツ推進の中心的な役割を果たしてきた。今後も事業の継続を期待するが、物価や人件費の上昇による事業費の増大が課題である。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
実績値・達成状況	実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	2 細々目	スポーツ協会事業		
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
予算額(A)		61,012	61,064	61,064	61,651	62,342				
決算額(B)=(C)+(D)		53,312	61,063	61,063	61,651	3,154				
財源※		特定財源(C)	0	0	0	0				
一般財源(D)		53,312	61,063	61,063	61,651	3,154				
概算人件費(E)		2,310	3,002	3,078	3,154	3,154				
従事職員人數(人)	常勤 再任用	0.30	0.00	0.38	0.00	0.38	0.00	0.38	0.00	
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		55,622	64,065	64,141	64,805	65,496				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価

担当課	スポーツ課
事業名	スポーツ協会事業

I 定量評価 (評価の各観点について、一定の基準に基づいた数値による評価)

	評価の観点					選択肢
	①趣旨・目的及び達成手段	②事業の効果	③事業の効率化	④課題解決への取り組み	⑤今後の事業の方向性	
A委員	2	2	2	2	2	4 適正 適正な事業運営がなされている
B委員	2	2	2	2	2	3 概ね適正 工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている
C委員	4	4	3	3	3	2 改善の必要あり 概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である
D委員	3	3	2	2	2	
E委員	3	2	3	2	2	
F委員	2	2	2	2	2	
G委員	1	1	1	1	1	
委員会全体	2	2	2	2	2	

II 定性評価 (評価の各観点について、意見やアドバイス等のコメントによる評価)

No.	評価の観点	評価コメント
1	①趣旨・目的及び達成手段	補助は良いとしても、効果の測定が足りない。税金を支出する重みを感じてほしい。
2	①趣旨・目的及び達成手段	趣旨・目的は古く感じるが仕方がないのかもしれない。スポーツ協会という達成手段もこれまでの経緯を考えるとこれも仕方がないのかもしれない。しかしながら、これらの検討及び目的と手段の整合性を吟味したようには感じられない。
3	①趣旨・目的及び達成手段	スポーツ協会事業としては必要であり、適正であると考える。
4	①趣旨・目的及び達成手段	過去と現在では、時代が大きく変わっている中で、あまりにもそのままのものが多すぎる。(評価ができていない。)趣旨・目的が当てはまっていないのでは。
5	①趣旨・目的及び達成手段	事業の評価を市が行っていないことが問題。スポーツ協会が効率的・効果的に事業しているかの評価がされていないので、スポーツ協会が適当に運営を行っていたとしても改善されない。
6	②事業の効果	効果について全く検討がなされていないのではないか。
7	②事業の効果	スポーツ協会事業が市の事業として有効なのか検討したほうがよい。
8	②事業の効果	スポーツ協会事業と指定管理事業で類似の事業を行っていることから、デマケーションが必要。

No.	評価の観点	評価コメント
9	③事業の効率化	担当課の事業に臨む姿勢が消極的に見える。人員が不足しているなど、何か原因があるのか。
10	③事業の効率化	スポーツ教室を実施するのはよいが、民間でやっているものはやらなくてもよいのではないか。例えば、水泳、テニス、空手、サッカーなどは民間のスポーツ教室があると思う。
11	③事業の効率化	スポーツ協会に事業を丸投げしているように感じる。
12	③事業の効率化	様々な競技団体の取り纏めとしては事業が必要かと思う。
13	④課題解決への取り組み	『スポーツに関する講演会・研修会事業』や『スポーツ功労賞等表彰事業』は本当に必要なかどうか、過去から慣例的に続いているだけなら見直しが必要なのではないか。
14	④課題解決への取り組み	予算を使う以上、きちんと事業評価をするべき。
15	④課題解決への取り組み	スポーツ協会ではなく、市として何をするのか考えてほしい。
16	④課題解決への取り組み	スポーツ庁で実施している『Sport in Lifeプロジェクト』に加盟し、他の団体や自治体の良い取り組みを取り入れたほうが良い。
17	⑤今後の事業の方向性	スポーツ協会事業が必要であれば担当課として事業評価をするべき。
18	⑤今後の事業の方向性	バラバラな感じがあり、ムダがありそうなので内容の見直しを考えてほしい。
19	⑤今後の事業の方向性	評価できる内容をもって、方向性を決めた方がよいのではないか。
20	⑤今後の事業の方向性	スポーツ振興の中長期計画を立てて、目指す姿に向かって戦略を練って、効率的・効果的にスポーツ振興に取り組んだ方が良い。川口マラソンは市外からの参加者もいるので、川口市のPRも含めて、他課・団体と協力して実施したら良いと思う。
21	⑥事業全体を通じた総合的な評価	補助金の効果測定について、市の統一的指針を作つはどうか。「従来どおり」からの卒業を望む。
22	⑥事業全体を通じた総合的な評価	スポーツ協会の事業そのものはともかくとして、それに対する市(担当課)の評価がなされておらず、補助事業の在り方として問題がある。
23	⑥事業全体を通じた総合的な評価	スポーツ協会が実施している事業としては一定の評価ができるが、市の事業としてはただのバラマキの感じがあり、取り組み方を考えたほうが良いと思う。
24	⑥事業全体を通じた総合的な評価	スポーツ協会事業の見直しをする時なのではないか。昔から変えずに同じ内容では難しいのではないか。現在の状況を把握してほしい。

【評価結果まとめ】

①趣旨・目的及び達成手段	
2 改善の必要あり	スポーツ協会が全国的で、組織的な取り組みだということは理解するが、市は補助金を支出するだけという姿勢では、市民への説明責任が果たされていない。
②事業の効果	
2 改善の必要あり	それなりの効果はあるのだろうが、効果の測定がない。市は事業実施による効果や進捗について、しっかりと評価をしてほしい。
③事業の効率化	
2 改善の必要あり	補助金の補助対象事業に関して取捨選択を行うとともに、補助額や対象事業費が適正であるかの判断をするべきである。
④課題解決への取り組み	
2 改善の必要あり	補助金を支出するのみでは、市の事業として不適切であり、効果を測定し、継続の必要性について判断を行うことなどについて取り組んでほしい。
⑤今後の事業の方向性	
2 改善の必要あり	スポーツ協会に対しては、補助金と指定管理料の両方を支出していることから、市の取り組みとして、今後どうしていくべきかを明確にしてほしい。
⑥事業全体を通した総合的な評価	
	補助金を支出している以上、申請時における実施計画の審査や、事業の実施結果に対する評価を適切に行い、評価結果に対する市の意見などをスポーツ協会にフィードバックする体制の構築を検討してほしい。